

【特集：各委員会の報告】

2022年度になり JIA 長野県クラブは新しい体制でのスタートとなりました。委員会構成を見直し、6委員会による活動となります。近況を各委員長からお伝えします。

【総務委員会 委員長 下崎 明久】

～ 総務委員会事業の半年間を振り返って～



2022年度・総務委員会としては「会運営の総務全般と各委員会活動等の下支え」を念頭に活動してきました。最初の数カ月間は、林新代表体制での年度初めとして委員会構成、年間行事スケジュールの組立てからスタートし、次に林新体制での「目玉」事業である表彰委員会+建築賞の立上げ、広報委員会の出版に関する新編集体制づくり等に間接的に関わって参りました。この間、幾度にも渡る諸委員会に出席するなかで、林代表はじめ各副代表や役員・各委員長と会員の皆さんのエネルギッシュな討論を目の当たりにし、改めて JIA 長野県クラブの熱の大きさを感じました。一方、今年こそ実現できると信じ、7月末に予定していた「フルコースの」夏のセミナーは、コロナ感染急拡大により残念ながら延期となりました。交流委員会中心に総務も全面協力して綿密に準備してきたものであり、改めての開催を目論んでおりましたが、10/5(水)に復活開催を実施することとなりました。総務委員会企画の「相談役を囲む会」も行いますので多数のご参加をお願いします。最後に総務委員会を下支えして頂いている、事務局・佐藤さんに感謝しますと共に、今後ともよろしくお願いいたします。

【事業委員会 委員長 小川原 吉宏】

～「建築祭」講演会講師が決定しました～



事業委員会は建築祭開催を企画準備実施する委員会です。本年度は2023年2月24日(金)会場準備、25日(土)文化講演会、26日(日)卒業設計コンクールの日程が決定し、松本市美術館にて開催する予定です。現状、会員アンケートにより講演会講師コンクール審査員依頼の結果、平瀬有人氏に、ご快諾頂きました。(佐賀大学准教授・博士、yHa architects) 近作では、8月末に開館した御嶽山ビジターセンター「やまテラス王滝」「さとテラス三岳」のプロジェクトがあります。プロポーザルによる選定でしたが審査委員長は、前年度講演会講師の宮崎浩氏でした。良い縁を感じます。9月よりチラシ作成準備していきます。来年の話になりますが、皆様のご協力宜しくお願い致します。

【表彰委員会 委員長 尾日向 辰文】

～ JIA 長野建築賞創設始末記～



この建築家通信が発行される時には第1回 JIA 長野建築賞 2022 の応募が締め切られています。どんな作品応募があったら、これからどんな審査を経て、どんな建築が栄えある大賞に輝くのか、わくわくしています。振り返れば、五里霧中暗中模索の建築賞創設でしたが、表彰委員会で大勢の会員から意見をいただく中で次第に形が定まり、そして内藤さんに審査員を受けていただくことができ、素晴らしい賞になる予感がしています。昨年の暮れに林さんが次期代表に選定され、幹事会に報告されました。林さんは挨拶の中で JIA 長野県クラブの主催する建築賞の創設をしたいと思いますと言われました。いいじゃないですか、おもしろそうですね、ひとつごとくのように賛同しましたが、年が明けておとそ気分も落ち着いた頃、林さんから相談を受けました。委員会構成を考えている中で、表彰委員会を新設して、主に建築賞の創設をやってもらおうと考えている、ついちゃおびちゃん、という展開。そりゃ幹事会の席ではいいじゃないですかって言いましたが、実際にやるとなるとめっちゃハードル高いですよ、長野県の建築賞は士会の建築文化賞や事協の作品賞や県の木の建築賞などがそれぞれ存在感を築いている中で、ここであえて JIA が創設する建築賞って、全く見当がつかない、というのが率直な意見でした。

【広報委員会 委員長 俵 周次郎】

～ 広報の役割、出版の在り方について奮闘中～



入会して五年目の私を広報委員長という大役に抜擢して頂いた事に驚きつつ何とか皆様のご期待に添えるよう日々「奮闘」しております。広報委員会では、出版(信州の建築家とつくる家 vol.18)、新しい JIA 通信、ホームページの運営と3つの大切な広報活動を行っています。特に今年度は出版において新たな編集者を迎えゼロから出版の在り方を考えています。良い本になるよう皆で知恵を振り絞り3月の出版に向けて会議を重ねている所です。皆様温かい目で見守って頂けると幸いです。

【地域環境委員会 委員長 宮坂 直志】

～ 半年間の活動報告～



地域環境委員会はまちづくり委員会と信州の地域材委員会が統合され、今年度から新たな委員会として発足されました。6月30日には第1回「環境・地域材を考える」を開催し、第一部では長野県行政関係者の皆様からゼロカーボンの取組や信州ゼロエネ住宅助成金制度について、第二部では法人協会の皆様からウッドショックとウクライナショックの現状について講話をして頂きました。その後の意見交換会も有意義な時間となりました。多くの会員の皆様にご参加いただきましてありがとうございました。

8月には山辺構造設計事務所の方による構造勉強会を開催する予定でしたが、コロナウィルス感染症の第7波による感染拡大を考慮し延期いたしました。今後の活動も難しい判断を迫られると思いますが、可能な限り皆様に参加したいと思うような委員会活動を行っていきたく思います。コロナ禍から始まった建築資材の高騰による建築費用の増大、法改正に伴う業務量の増加といった頭を抱えたいくなる問題が多いですが、こういう時だからこそ同じ悩みを抱える会員同士の勉強会や情報共有は大切だと思います。引き続き委員会活動にご協力をお願いします。

【交流委員会 委員長 野口 大介】

～ 交流委員会の役割～



今年度林代表の新体制となり、委員長を仰せつかりました野口です。半年を過ぎ、当委員会は会員皆様が交流を通じて「有意義である」と感じて頂ける様にする事が役割であると思えました。その為の企画は、技術交流会、仕事を語る会、夏・冬のセミナー、そして新たな試みとして今年度から法人協会主催による新年会です。その中でも技術交流会は、法人協会の方に製品や工法等々の説明をして頂くアピールの場。正会員は新たな知識に出会える場です。コロナ過以後、ウェブによる技術交流会が行われて来ました。引継ぎ今年度も開催します。ウェブでのメリットは今まで参加しづかった正会員事務所員も視聴でき、そして法人協会会員の遠方関連会社の方にも参加頂ける事です。参加者の幅が広がり、新たな交流が生まれる事が期待出来ます。その他の企画も、小宮山担当副代表、当委員会委員そして各委員会委員長と協力をし、より多くの方が興味を持って頂ける様にしていきますので、皆様のご協力ご参加を宜しくお願い致します。

2022年度新入会員紹介

今回は多くの新入会員を迎えています。
新入会員の皆様、宜しくお願いします。

正会員

【嶋本 耕三：嶋本耕三建築設計事務所】



2021年秋、小諸のイベント参加をきっかけに、JIAにお誘い頂き2022年春に入会いたしました、嶋本耕三と申します。生まれは兵庫、大学は鹿児島、就職は信州の宮本忠長建築設計事務所を経て、2020年に塩尻市で設計事務所を開設しました。転々としている人生ですが、思い返せば全て人の縁に助けられた結果だと思います。

JIA入会の経緯も新井優前代表から直々にお誘い頂いたのはじめ、諸先輩方からJIAの「建築家宣言」にもある志と、フランクな交流の両方の魅力を教えて頂いたこと

が決め手になりました。今後は、偉大な先輩方によって築かれた、由緒ある会の皆様との縁を大切にしながら、精進して参りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

【高橋 正嘉：ハイランドデザイン一級建築士事務所】



1976年青森県生まれ。2001年芝浦工業大学大学院を修了し、東京の設計事務所にて9年程勤め、2010年にハイランドデザイン一級建築士事務所を設立しました。その後、2016年に安曇野市へ移住し東京と安曇野での二拠点にて活動しております。

自然豊かな長野県のごどこかで移住したいと思ったのがきっかけで地縁などないため、JIA長野県クラブに入会することで長野県様の様々な情報を吸収していきたいと思っております。またJIA長野県クラブの一員として、地域貢献ができるように先輩の方々からの意見を尊重しつつ頑張っていければと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

【山田 真一：アーキアップ一級建築士事務所】



本年度正会員となりました山田真一です。かわかみ設計の所員時代にも準会員として所属しておりましたが、あらためて宜しくお願いします。大学院修了後、2005年から『新建築』編集部にて5年ほど在籍し、建築専門誌の編集に従事しました。多数の著名建築家と間近で接する機会を得て、ものの見方、社会との向き合い方など多くのことを学びました。2010年に地元の松本に戻り、かわかみ建築設計室にて9年在籍（うち1年は東京のTH-1に並行して在籍）、

2018年に独立し事務所を開設しました。建築の本質を忘れず、建築に真摯に向き合っていきたいと思っております。

【熊谷 善紀：(株)Y建築設計】



この度JIA長野県クラブに入会致しました、株式会社Y建築設計の熊谷善紀と申します。松本市出身で、現在も松本で設計に勤んでおります。志が高く、精力的なJIA長野県クラブに入会させていただき、会員の皆様とともに、建築文化の発展と、社会貢献を少しでもできるように勉強させていただきたいと考えております。宜しくお願い申し上げます。

【遠野 未来：遠野未来建築事務所】



皆様、初めまして。遠野未来建築事務所 遠野未来と申します。これまで20年以上東京を拠点に活動してまいりましたが、7年前に軽井沢に事務所を移転し、「大地」と「地域」に根ざした「現代の土の建築」をテーマに日本全国と海外で設計監理を行っています。

「土の建築」というと古民家や土蔵の土壁や三和土が思い浮かびますが、その伝統的技術を現代の思想と意匠の視点から「版築」と組み合わせるなど「21世紀の建築」として再生・発展させることが私の目標です。特に長野に来てすばらしいと思っているのが、未来に向けた「素材」「技術」「人」が残っていることです。これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

法人協力会員

【(株)インテルナながの 代表取締役 吉原 太郎】



弊社は、1984年創業以来、輸入キッチン・家具の販売・施工をさせていただいており、現在ではオーダーキッチンの製作・施工をしております。

「毎日の家事にときめき」のコンセプトの元、素材やパーツ、機器など一つ一つ丁寧に、こだわりをもって、暮らしを彩るようなオーダーキッチンをご提案いたします。また、家具・カーテンも扱っており、機能性・デザイン性どちらも妥協しない、とっておきの家具やインテリアを空間に合わせてご提案させていただきます。

今までの経験を活かし、皆様のお役に立てるよう活動していきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

個人協力会員

【丸山 淳治】



お世話様です。昨年度までテオリアランパーテックにて専務をしておりました丸山淳治です。

3月で退社し、4月より予てから研究開発をしております熱処理木材を製造・販売するモカウッドジャパン株式会社を立ち上げました。長野県産カラマツ・アカマツを熱のみで処理することにより木材成分ヘミセルロースを変質させ水分を持ってなくすることで塗装無しですべて腐らず、寸法安定性の高い木材にしました。特にカラマツの外壁はコーヒーを

焙煎した様な褐色が長持ちしますので社名になっております。事業を安定させて早く法人会員になりお役に立ちたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

開催したイベント

- 4月22日(金).....会員集会・2022年度通常総会
- 5月31日(火).....第1回幹事会
- 6月30日(火).....第1回環境・地域材を考える
- 7月12日(火).....第2回幹事会・技術交流会(WEB)

今後の行事予定

- 10月5日(水).....夏のセミナー
- 10月12日(水).....第3回幹事会・技術交流会
- 10月20日(木)~22日(土).....JIA建築家大会~沖縄~
- 11月9日(金)または10日(土).....仕事を語る会
- 12月2日(金).....冬のセミナー

編集後記

建築家通信はこの号より、クラブ内編集・PDF配信のみとなります。いざ動き出すと帯のデザインから誌面構成・記事内容など、決めることが多く、昨年とは勝手が違って戸惑いながらの作業でした。今回は紹介が主となります。今後もさまざまな出来事を配信できればと思います。 広報委員会副委員長 鈴木 敏之

皆様からの投稿をお待ちしております。誌面へのご意見もお寄せください。



公益社団法人日本建築家協会

編集人/鈴木敏之 発行人/林 隆
発行所/JIA長野県クラブ
長野県南長野妻科426-1 長野県建築士会館内
TEL:026-232-3897 FAX:026-232-5303
<https://www.jia-nagano.com>
E-mail info@jia-nagano.com